

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------------|--|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 11 (7) | 利用者さんの対応で、気持ちに余裕がなくなっている。利用者さんの訴え、行動ばかり気にして、その背景を考える余裕がない。 ⇒笑顔が少なくなった。(利用者、スタッフ共に)スタッフ同士のコミュニケーションも減ってしまった。 | 利用者さんもスタッフも笑顔の多いユニット作り。 自然とニコニコ(^^) | 意識して少し変わった1ヵ月を。 笑顔が出たら、利用者スタッフで、大きな紙に花びらを貼っていき満開になるように。 利用者の訴えの背景、気持ちも考えられるところまでいけたらいい。 | 1ヶ月 |
| 2 | 26 (10) | 利用者のことから全体のことまで、情報共有が十分にできていない。 | スタッフ全員が情報共有、情報交換ができる。 | 何か変更があればまずはリーダーへ報告。 一つの用紙に記入し1週間掲示する。 (ホワイトボードが一番見るのでそこに貼る) | 1ヶ月 |
| 3 | 6 (5) | 身体拘束の物理的なもの、薬による拘束、言葉による拘束の理解が必要。 | スタッフ全員が物理的、薬、言葉など、拘束にあたることを理解する。 | ユニットミーティングでの話し合い例を出して、いま行っていることを話し合う。 | 2ヶ月 |
| 4 | 43 (16) | 定期的なトイレ案内は確実にしているものの、かぶれやすい利用者も多く、検討が必要。 | おしりのトラブル改善、気持ちよく清潔を保てる。 | オムツかぶれのメカニズムの理解と、対応の把握。紙パンツor布パンツ使用の再確認。 | 3ヶ月 |
| 5 | 13 | 拘縮があり足を床につけられない利用者、全介助の利用者の介助に、スタッフが腰や肩の痛みが出て辛い思いをしている。 | 体に負担のかからない介助方法を知り、腰痛など、痛みなく介助ができるようになる。 | 外部から介護技術の講師を招き、研修を行い、体の負担にならない介護技術を身につける。 | 1ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。